

1/12 県内の倒産減少

帝国データバンク神戸支店によると、22年の県内企業の倒産件数は、前年比6・3%減の310件、負債総額は同18・4%減の416億8千万円といずれも減少した。政策支援が奏功し、倒産件数は3年連続の減少となり、01年以降で最少件数であった。

1/19 神戸港輸出入総額初の10兆円超え

神戸税関が発表した22年の神戸港貿易概況は、輸出入総額が前年比27・2%増の12兆567億円と、統計が残る1979年以降で過去最高額だった。2年連続の更新で、10兆円を超えるのは初めてとなる。

1/24 兵庫県「空飛ぶクルマ」実現へ連携協定

兵庫県と㈱Sky Driveは「空飛ぶクルマ」実現に向けた連携協定を締結した。次世代モビリティによる地域経済の活性化、防災機能の強化などを目指す。23年度には次世代空モビリティひょうご会議（仮称）を立ち上げ、ポータル整備支援、事業開発支援な

どを行う。

1/30 神戸市、再び転出超過

総務省が発表した22年の住民基本台帳に基づく人口移動報告によると、神戸市は前年の74人の転入超過から一転、3174人の転出超過となった。前年は比較可能な14年以降、初めて転入超過に転じていたが、1年で反転した。

2/16 神戸空港開港17周年 需要回復

神戸空港は開港から丸17年を迎えた。神戸市のデータによると、22年の旅客数は前年比66・0%増の264万8825人となった。新型コロナウイルスの影響により減少していたが、行動制限の緩和もあって需要が回復した。

2/28 兵庫県「フィールドパビリオン」に113件認定

兵庫県は、25年の大阪・関西万博開催に合わせて全県で展開する「ひょうごフィールドパビリオン」に113件を認定した。地域の人が主体となってSDGsにつながる取り組みを紹介し、来場者に体験してもらう企画で、万博を機に県内への誘客を目指している。

2/28 県内出生数過去最少3万4879人

人口動態統計（速報値）によると県内の22年の出生数は、前年比6・0%減の3万4879人と過去最少を更新した。新型コ

ロナウイルスの影響などで少子化が進んでおり、人口減少のペースが加速している。

3/13 県内企業の景況判断5四半期連続「下降」

神戸財務事務所が県内法人企業景況予調査によると、1～3月期の全産業の景況判断指数（BSI）は、前期比10・8ポイント悪化の▲12・0と5四半期連続で「下降」超となった。

3/23 県内住宅地 15年ぶりに上昇

国土交通省が発表した1月1日時点の公示地価によると、県内住宅地の変動率は0・7%増と15年ぶりに上昇した。利便性の高い神戸・阪神・東播磨地域を中心とした住宅の需要が堅調だったことが寄与した。商業地は1・3%増で、3年ぶりの上昇に転じた。

3/29 兵庫県県庁舎の一部解体を発表

兵庫県は老朽化が進む県庁舎の1号館と2号館について、耐震診断の結果を受け解体すると発表した。2025年度に移転を開始し、26年度にも解体するとしている。

3/31 「日本真珠会館」閉館

神戸市の旧居留地にある「日本真珠会館」が建物の老朽化などを理由に3月末で閉館され、70年の歴史に幕を下ろした。同館は真珠取引の拠点として1952年に建設され、2005年には国の登録有形文化財に指定されていた。